

2023年5月1日

中部国際医療センター（旧木沢記念病院）で甲状腺葉切除術を受けられた患者様へ

「当院における甲状腺葉切除後の術後甲状腺機能に関する検討」への協力をお願い

中部国際医療センター（旧木沢記念病院）外科では、過去に下記のような治療を受けた患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

2019年1月1日から2021年12月31日までの期間に、中部国際医療センター（旧木沢記念病院）で甲状腺葉切除術（右葉切除、左葉切除）を受けられた患者様。

② 研究の期間

2023年5月1日～2023年12月31日

③ 研究の目的

④ 術後甲状腺機能低下症は、甲状腺術後に生じうる合併症のひとつであり、生涯にわたり甲状腺ホルモンの内服が必要となります。術前に甲状腺機能低下を来しうる因子を把握しておくことは有用であり、患者様への説明の際に役立つものと考えられます。

⑤ 研究の方法

2019年1月1日から2021年12月31日までの期間で甲状腺葉切除術を施行した症例で、患者様の既存の情報を用いた後方視的検討です。電子カルテ情報をもとに以下の情報を抽出し、術後甲状腺機能につき検討します。患者様の年齢、性別、全身状態（CCI index や ASA-PS 分類）、併存疾患、術前甲状腺機能（TSH, T3, T4）、術後甲状腺機能（TSH, T3, T4）、手術日、術式、術後病理結果、術後フォローアップ期間

⑤ 研究責任者

桐山 俊弥 所属 中部国際医療センター 外科

⑥ 指導研究者

山口 和也 所属 中部国際医療センター 外科・副病院長

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター 外科

電話番号 0575-66-1100 (内線 7793)

責任者氏名：桐山 俊弥